

第4章. 工業用水道編

1 事業の経緯

昭和59年12月	通商産業省に「富士町工業用水道事業」として事業届を提出
昭和60年8月	供給開始
平成19年2月	取水井戸の水位低下により送水停止。その後の調査により、取水井戸の最大可能揚水量が、操業当時の1,800m ³ /日から、352m ³ /日～267m ³ /日に低下していることが判明。これ以降、井戸水位低下による送水停止は起こっていない。
平成24年2月	配水池を新築移転し、有効貯水量を100m ³ から300m ³ に増加
平成27年4月	市長部局から佐賀市上下水道局へ事業移管
平成31年1月	配水池に加圧ポンプを設置

2 現在の給水状況

○給水能力 1,000m³/日

○基本料金 30円/m³ ※超過料金(基本使用水量超過分)40円/m³

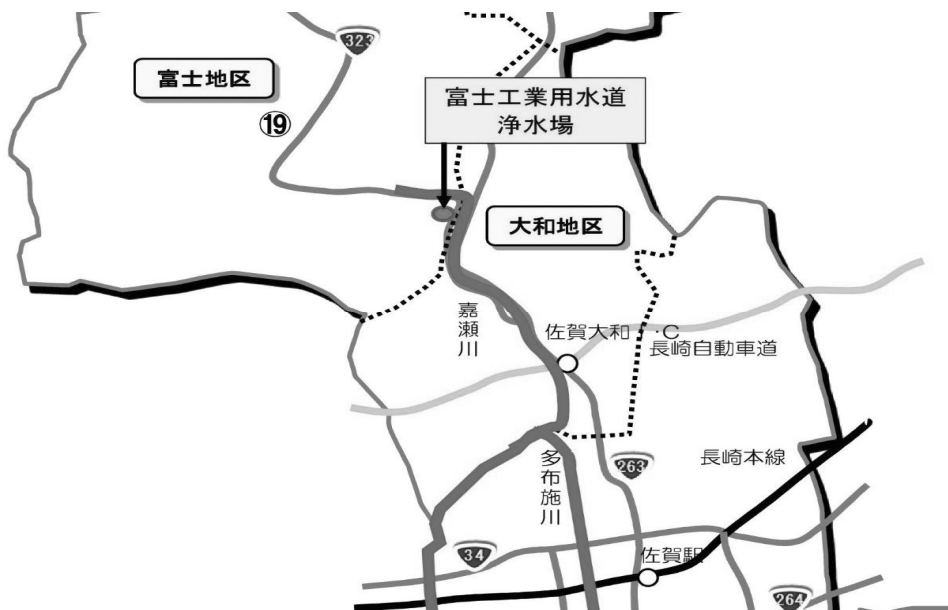
○供給先企業 3社

	企業名	基本使用(契約)水量	製造品	工業用水利用目的
1	三菱ガス化学(株)	120.0m ³ /日	超純水	製造品の原料
2	岩谷瓦斯(株)	100.8m ³ /日	水素ガス	製造品の原料
3	(株)プロセス・ラボ・ミクロン	100.0m ³ /日	メタルマスク	製造品の製造、機械の冷却等

○給水量

事項	単位	28年度	29年度	前年度 対比	30年度	前年度 対比
年間給水量	m ³	40,814	45,193	110.7	50,447	111.6
一日平均給水量	〃	112	124	110.7	139	112.1

3 施設位置図



4 浄水場施設

富士工業用水道浄水場

主 要 施 設		規 格 ・ 規 模		
取水施設	取 水 井	RC造り	2.6W×2.6L×2.0H(浅井戸)	
	取 水 ポ ン プ	水中ポンプ	φ 80mm×2段×3.7kw Q=1,075m ³ /日	2台
浄水施設	着 水 池	RC 造り	1.2m×0.9m×2.0m 有効容量 2.16m ³	1池
	薬 品 混 和 池	RC 造り	1.2m×1.2m×1.7m 有効容量 2.45m ³	1池
	フロック形成池	RC 造り	2.0m×2.0m×2.0m 2段 有効容量 13.6m ³	2池
	薬 品 沈 殿 池	RC 造り	2.0m×5.5m×3.2m 有効容量 35.2m ³	2池
	送 水 ポ ン プ 井	RC 造り	5.0m×4.0m×2.3m 有効容量 46. m ³	1池
	ポ ン プ 薬 注 室	RC 造り	5.0m×7.0m 面積 35m ²	1棟
	電 気 計 装 設 備			1式
送水施設	送 水 ポ ン プ	多段渦巻ポンプ(フライホイール付) φ 80×0.7m ³ /分×70m×15kw		2台
	送 水 管	ダクタイル鋳鉄管・水道用塗覆装鋼管・硬質塩化ビニル管 φ 200・φ 150 L=761m		
配水施設	配 水 池	RC 造り	10m×5m×3m 2槽式 有効容量 300m ³	1池
	加 圧 ポ ン プ 室	RC 造り	3.0m × 2.0m 面積 6m ²	1棟
	加 圧 ポ ン プ	加圧給水ポンプユニット φ 65-50×477m ³ /分×15m×3.7kW×2基		1台